

# 第5回 米代川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

## 第9回 米代川圏域流域治水協議会

能代河川国道事務所

～「米代川圏域の減災に係る取組方針」を改定～  
～令和7年度発生 of 洪水について関係機関で水害危機感を共有～

### 1. 概要

米代川流域の関係機関が連携・協力し、水害に対する減災対策及び流域治水に取り組むため、減災対策協議会及び流域治水協議会を開催しました。協議会では、規約の改定、減災に係る取組方針の改定について提案し、承認を得たほか、流域治水のより一層の推進に向け、各機関の取組状況等についてのフォローアップを行い、各機関が取組実績を報告し、意見交換を行いました。また、令和7年8月・9月発生 of 洪水被害について各機関が報告し、水害危機感の共有を行いました。

### 2. 実施状況

日時：令和8年2月16日（月）10時00分～12時00分

会場：能代河川国道事務所 第1会議室  
(WEB会議併用)

出席：能代市長、藤里町長、八峰町長、上小阿仁村長、  
八幡平市長

秋田県総務部危機管理監、農林水産部長、建設部長  
岩手県農林水産部長、県土整備部長

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林整備センター 東北北海道整備局長

東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長

東北森林管理局 米代東部森林管理署長

気象庁 秋田地方気象台長

秋田内陸縦貫鉄道(株) 代表取締役社長

東北運輸局 鉄道部長

能代河川国道事務所長 (一部代理出席)

### 3. 主なご意見・コメント等

【能代市長】

- ・悪土川流域減災のため関係各機関が連携し、「悪土川水災害対策プロジェクト」を推進していることに感謝申し上げる。
- ・度重なる洪水被害により自治会の繋がりは強くなっており、各戸で家屋浸水防止対策を実施するなど自主防災の気運が高まっている。
- ・洪水被害防止のため、水田補償を検討しつつ田んぼダムを推進する方法も考えられる。

【藤里町長】

- ・関係機関の流域治水・減災の取組を説明いただき参考となった。藤里町においても取組事例を反映して減災に取り組んでいきたい。

【八峰町長】

- ・秋田県内は4年連続の豪雨被害となっており、国・県・市町村など関係機関の連携あるいは協力体制の強化が非常に重要である。

【能代河川国道事務所長】

- ・各機関で実施している河道掘削事業は治水上非常に有効であると考えている。予算制約が厳しいと思うので、推進費など別枠予算も活用して事業を推進していただきたい。

